



有限会社 吉田工業

vol.20

2024年8月15日発行



Voice



開発課 課長

KOBORI MASARU 小堀 勝

小堀勝さんは、2019年に中途社員として有限会社吉田工業に入社しました。現在は現場での業務の他、社内報制作や社内講習会の講師などを担当し幅広く活躍しています。仕事をすることで心がけていることや、やりがいを感じる瞬間、後輩社員へ期待することなどについて伺いました。

これまでの経歴や、

吉田工業に

入社したきっかけを

教えてください。

前職は、復興支援に関連する業務に携わっていました。その中で、吉田工業の社員の方と知り合い、「一緒に仕事をしないか」と誘ってもらったのがきっかけです。考えていたところ、決め手になったのは吉田代表取締役の人柄です。採用面接の際、とても気さくに接してくれて「この人の下なら、安心

して働けそうだ」と思い入社を決断したのです。

現在は、勿来IGCCパワーという発電所で使用する部品の予備品を、倉庫で管理する作業を主に担っています。

仕事のやりがいを

感じる瞬間について、

聞かせてください。

現在担当している業務は、見積もりから契約までを一貫して任されているため、やりがいを感じていますね。責任が重くプレッシャーを感じるときもあります。が、成果が出た際には大きな達成感が得られ、「次も頑張ろう」と原動力になります。

吉田工業に入社する前は、営業の仕事に携わった経験はありませんでした。が、日々勉強を重ねながら前向きに取り組んでいます。

働く上で大切にしていることはありますか。

1 点目は、疑問点をしっかりと確認すること。良くわからなかったり不安が残ったりしている状態では、作業を進めないようにしています。とくに現在の業務は、上司から指示を受けるわけではなく、自身の裁量に拠るところが大きいため、物事を慎重に見極めて遂行するよう努めています。

2 点目は、文書に残すこと。電話で仕事の打ち合わせや確認をすることが、頻繁にあります。記憶だけを頼りにするのは曖昧になりますし、後から確認することもできません。明文化した後、認識の齟齬がないよう双方でしっかりと折り合わせをします。業務範囲や責任を明確にすることによって、トラブルを未然に防ぐことができます。

趣味や

リフレッシュ方法を

教えてください。

趣味は、釣りカラオケです。釣りは、主に海釣りを楽しんでいます。青魚やヒラメを狙っていますが、なかなか釣れませんね。「どう釣るか」を考えるのも楽しさの一つ。今後も気長に続けていきたいと思っています。カラオケは、友人と一緒に大きな声で歌って日頃のストレスを発散。いずれも仕事の活力へと繋がっています。

最後に、今後の

取り組みについて

伺います。

現在、社内でパソコン講習会を計画中です。以前も一度開催しましたが、今後は定例化することになりました。社員の皆さんの中に

は、パソコンに苦手意識があったり、触れる機会があまりなかったりする方もいるでしょう。講習会では、レベル別にわけて丁寧に説明するため、ぜひ積極的に参加してください。世の中は一層IT化が進み、パソコンがなくては生活に支障をきたすほど。最初は興味がなくても、取り組んでみたら意外と面白いと感じるはずです。加えて、原価管理に力を入れていきたいと考えています。持続的な利益を生み出すために、適正なコスト管理をして収益アップに努めていきます。

吉田工業は、業績を上げたら上げただけ、社員に還元してくれる会社。個人の頑張りを認めてくれます。若手社員の皆さんは、積極的に新しいことを学んで仕事の幅を広げてほしい。私が制作している社内報には、有益な情報がたくさん掲載されていますので、どう

ぞ活用してください。また、社内報にはさまざまな部署の社員が登場しています。普段接する機会が少ない社員同士が、誌面を通して知り合えるようになってくれたらと願っています。

「後輩社員が仕事のやりがいを感じられるようにサポートしていきたいと思います。」と、温かい眼差しで語った小堀さん。これからも後輩たちの成長を見守りつつ、吉田工業をしっかりと支えていくに違いありません。

企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：12億円

※2023年3月時点

基本が
大事!

シゴトノココロエ

仕事の心得

今回は、社会人の基本とも言われる「報連相」について紹介します!

「報連相」という言葉は、1982年山種証券社長の山崎富治氏がひらめき、広めたのが始まりです。

当時は「報告・連絡・相談が出来る風通しの良い職場環境を作ろう」と言うものですが、現代では、

「集団としてのパフォーマンスを向上させるために報連相をしよう」という捉え方になってきています。

まずは、「報告」「連絡」「相談」を知ることから始めてみましょう。

報告

関係者に対して、進捗状況や結果を報告することです。報告は、「結果報告」「経過報告」「トラブル報告」の大きく3つに分けられます。

状況に応じて、「変更報告」「情報報告」も必要です。

… 結果報告 …

指示・依頼を受けた事に対して、終わったことを伝えること

… トラブル報告 …

トラブルが発生した際に、直ちに内容を伝えること

… 情報報告 …

情報を入手した際に、直ちに内容を伝えること

… 経過報告 …

指示・依頼を受けた事の進行状況や今後の見通しを伝えること

… 変更報告 …

指示・依頼を受けた内容に対して、変更したい事が生じたときにその内容を事前に伝えること

連絡

内容や情報を関係者全員に伝えることです。連絡は、「現場内や部署内」「部署間」「お客様」の3つのケースがあります。

… 現場内や部署内の連絡 …

細部にわたる情報交換が多く、スムーズに的確に内容を伝える

… 部署間の連絡 …

現場内や部署内だけでなく通用しないような略語や専門用語を控えて、現場内や部署内よりも丁寧な対応で内容を伝える

… お客様への連絡 …

相手の気持ちを十分に考慮して、気づき・気遣い・気配りを忘れずに、内容を伝える

相談

困った時や迷った時などに周囲に参考意見を求めることです。

相談をする際には、相談する相手が忙しくないかなどのタイミングを見計らい、相談内容の資料を用意して相談に向かいます。相手に頼るばかりでなく、あらかじめ自分の考えを用意することも大切です。



「報連相」のポイント

「報連相」はただ行えばよいわけではありません。

やり方ひとつで、仕事の出来る／出来ないが判断されてしまう場合もあります。上手に「報連相」を行うために、以下の3つのポイントをしっかり押さえましょう。

1 適切なタイミング

報連相は、要求されてから行うことではなく、状況に応じて、自分で必要だと感じた時に報告することが重要です。報連相を行わない人の中には、自分のミスや成果のなさを伝えたくないという人もいますが早期に報連相を行うことで、傷が浅いうちにミスが改善でき、業務改善の指導を受ける事もできます。ミスやトラブルなどの、報告しづらい事こそ、早急に報告することが必要です。

2 手段を考える

相手に内容を伝える手段として、「口頭」「記述」があります。内容が容易に伝わる事や急を要する場合には、「口頭」にて内容を伝えます。内容が複雑であり、伝える関係者の数が多い場合には、「記述」が必要です。どちらにおいても、7W2Hを明確に相手に伝えるようにしましょう。[7W2H(When いつ・Where どこで・Who 誰が・What 何を・Why なぜ・Who だれに・With だれと・How どのように・How many どのくらい)]

3 正確な情報を伝える

相手に情報を伝えるためには、まず内容を自身で把握する必要があります。伝える本人が内容を把握していなければ、必要な事を伝える事はできません。むしろ、周囲を混乱させてしまう恐れがあります。手元にある情報だけで理解ができない場合には、報告の前に自身で情報収集してから相手に伝えるようにしましょう。

「報連相」マスターのメリット

1 仕事の効率がUPする

2 仕事を任されるようになる

3 仕事にやりがい生まれる

正しい報連相を身につけることは自己の成長に直結します。スキルアップした自分に自信をもって仕事に取り組むことで、毎日が充実してきます。まずは周りの人とのコミュニケーションを大切に、小さなことからチャレンジしてみましょう。

社長通信



代表取締役
社長

よしだ ただかつ
吉田 忠克

～会社の利益を考える～

vol.
3

社長の思いを社員の皆さんへ伝えるこの企画。今回は、会社の利益を出すために大事なことについてお話していただきました。さらに、業務効率アップのコツを社長直々に伝授！ぜひご一読ください！

✓ 会社の利益を出すために大事なこと

無駄を省いて効率良く人を動かす！

職長や班長などの現場責任者が、自分の仕事に没頭して周りが見えないと、周りも動かなくなります。自分も効率良く行動し、効率良く人を動かせるような采配が必要です。

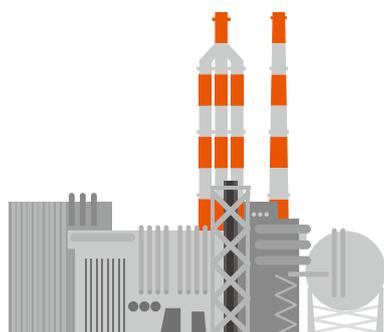
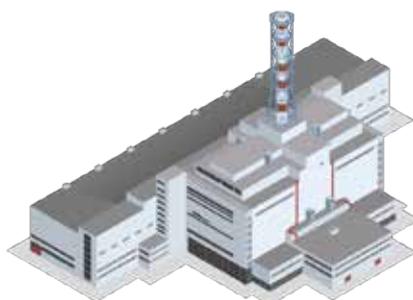
また、新入社員が仕事を覚えるためには、まだまだ時間がかかります。ただ仕事を覚えるだけではなく、自分で「無駄だな」と思うことは省きましょう。無駄をなくすことが大切です。入社1～2年目は仕事を覚え、3年目からは無駄を考えて仕事をする。効率良く動くことで、現場が早く終わって他の現場を手伝いに行けたり、自分の時間がつくれり、会社全体のメリットがあるのです。また、早く工程を進めれば余裕ができるため、周りを見渡すこともできて工事の質が上がります。

✓ 今、社員に足りないと思うもの

「無駄を考えながらの仕事」ができない理由は「意識の違い」

「段取り八分」という言葉がありますが、段取りが8割できていれば、仕事が終わったようなもの。まずは自分で、10日かかる仕事を8日で終わらせる努力をしましょう。そして、日々の目標や一週間の目標をつくること。私は、工事が始まる時に「これはこのくらいで終わらせる」という目標を立てますが、これは経験値があつての話です。経験が浅い人は、なかなか目標が立てられないため、上司や先輩に確認することが重要。また、工事の先を見越して計画を立てることで効率が上がります。「前年はこうしていたから、今年もこうしなくてはならない」ではなく、「もっと違う方法があるのではないか」と考えることが大切です。

どのように人件費を抑えることができるかは、職人の腕にかかっています。他社が5名で行う作業を、3～4名でできるという自信があれば、どんどんコストダウンができるのです。



社員の皆さんへメッセージ

2024年7月からリスクリングをスタートし、パソコンや測定工具などの使い方について、2週間に1回の講習があります。若手だけではなく、幹部にとっても学び直しになるでしょう。中堅層は、業者頼みになっている部分があるかもしれません。技術力やノウハウなどをさらに身につけ、効率を良くしていきましょう。また、職長は指導するだけではなく、失敗の解決方法を考えられるようになってほしいと思います。

会社として利益を出すことは第一です。しかし、それに伴った技術力の向上と、安全に怪我をさせない思いやりの気持ちも大切にしてほしいと思います。

若手の成長を見守る! /

上司からの通信簿

自分の成長を自分で感じるのは難しいもの。ただ、成長を見守ってくれている人がきっと皆さんの近くにはいます。今回は上司から部下へ、愛のこもった通信簿をお届け。今までの成長ぶりやこれから期待することなど、たっぷり語っていただきました。



FROM

取締役専務

あき やま まさ ひろ

秋山 正弘さん

TO き むら ひろ ゆき
木村 博幸さん



木村さんとの関係性

上司と部下の関係です。木村さんは入社当初は工事に配属されていましたが、2020年頃から各部署を総合的に統括する統括部長として活躍してくれています。

木村さんの成長を感じるどころ

コミュニケーション力を生かして頼りになるパイプ役に

もともと工事を完璧にまとめてくれていた木村さん。その統率力をより広範囲で生かしてもらおうと統括部長をお願いしました。その結果、持ち前のコミュニケーションスキルを惜しみなく発揮してくれ、これまで以上に各部署の連携が取りやすくなって助かっています。普段から部下の意見をしっかり拾い上げ、パイプ役として伝えてくれており、木村さんが統括部長になってから繋がりがより強固になったと感じています。

木村さんのすごいところ

部下の意見を吸い上げ、会社全体を考えた意見を提案

工事部時代には部署内の問題解決に終始していましたが、統括部長になったことで、会社全体を考慮する姿勢で意見を伝えてくれるようになりました。また、工事面では自身の経験を作業員に教えることもでき、業者とのコミュニケーションにも長けています。統括部長になったことで、より一層能力が発揮できるようになり、彼の部下たちの目標になれる人間になっていると思います。

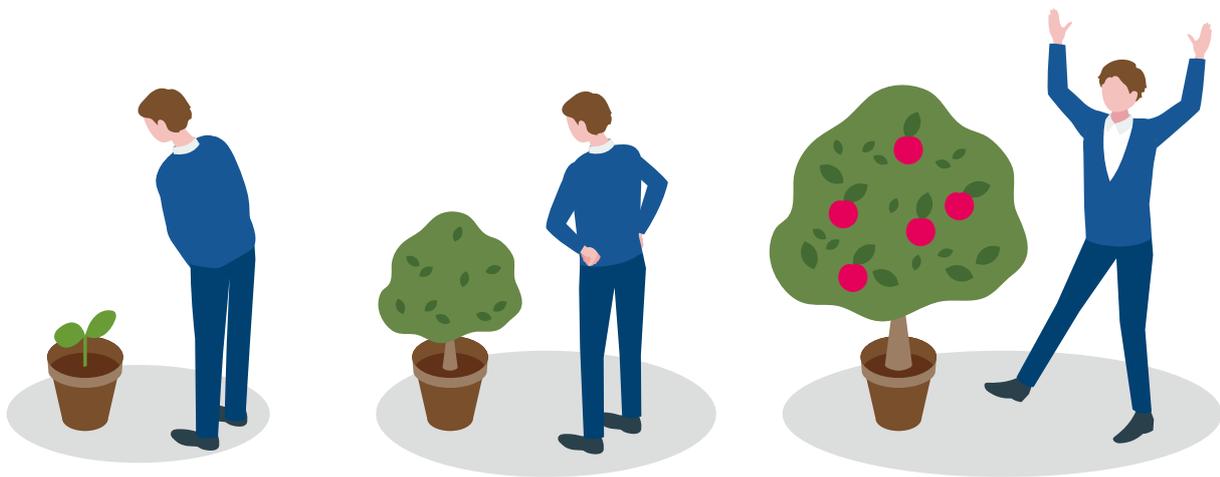
今後、木村さんに期待しているところ

今のままの姿勢を貫き通してほしい

木村さんはすでに素晴らしい働きをしてくれているため、今やっていることをそのまま貫き続けてほしいと思います。仕事をしていれば良いことも悪いこともあるでしょう。特に木村さんは採用のトップでもあるため、嫌なことも相当経験するはず。もしメンタル面で少しでも辛くなった場合には、言いづらくかもしれませんが誰かに打ち明けてください。私もいつでも話を聞く準備はできています。お互い、良い面、悪い面をそれぞれ受け止めながら、解決策を考えていきましょう。

木村さんへのメッセージ

会社の釣り行事や出張の際のご飯など、いつも楽しみにしています。これからも今まで通り、仕事も遊びも一緒に楽しみましょう。



FROM

統括部長

きむら ひろゆき

木村 博幸さん

いしかわ たつひこ
TO 石河 達彦さん



石河さんとの関係性

石河さんは15年ほど前に入社。入社以来建設部で活躍し、現在は部長です。私にとって一番信頼している部下にあたります。

石河さんの成長を感じるころ

無口なタイプから一転！ 現在は部下の育成に尽力

入社した当時は無口で、あまりコミュニケーションが得意ではないタイプでした。しかし、役職が上がるたびに責任感が芽生え、コミュニケーションを積極的に取るように。部下の育成ができるようになりました。初期に比べるとすごい成長ぶりだと感じます。また、ほぼ未経験の状態が入ってきたのですが、どのような仕事でも真面目に取り組み、今では様々な仕事をこなせる非常に頼もしい存在になっています。

石河さんのすごいところ

楽をすることを知らない！ 難しい現場に率先して挑む姿勢

とにかく真面目で仕事に対して一切妥協をしません。嘘もつかず、仕事も絶対に休みません。休みが好きではないようで、休みがあると「仕事ないですか？」と聞いてくるような人です。向上心も強く、人より仕事がしたい、難しい現場に行きたいと、大きな現場を率先して担当。このように「楽をしたいという考えがない」というところを尊敬しています。自分に厳しく人にも厳しいですが、誰よりも仕事をするため、部下も信頼して石河さんに必死に食らいついているのだと思います。

今後、石河さんに期待しているところ

厳しさの中に優しさを！ アメとムチの使い分け

厳しさの中にもう少し優しさを持てば、より部下が育つようになると思います。今は少しムチが多め。アメとムチを使い分け、もう少しアメを増やすと良いかもしれません（笑）石河さんはすごいスピードで昇進をしてきましたが、今の真面目な姿勢を貫けばさらに役職が上がると思います。今のままで十分。このまま活躍し続けてくれることを期待しています。

石河さんへのメッセージ

最近体にガタがきているため、健康には十分に気をつけてください。石河さんはまだまだ働き盛りの世代。これからもっと活躍してもらいたいと思っています。体を労りながら、一緒に頑張っていきましょう！

